

会 議 録

会議名		令和7年度第1回小山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049（直通）		
開催日時		令和7年5月13日（火） 19時00分～20時50分		
開催場所		小山公民館 大会議室		
出席者	委 員	17人（別紙のとおり）		
	その他	3人（中央区長、中央区副区長、中央区役所地域振興課長）		
	事務局等	3人（中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人）		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 来賓あいさつ 3 役員の選任について 4 会長あいさつ 5 委員自己紹介 6 事務連絡 (1) 小山地区まちづくり会議について (2) 地域活性化事業交付金について 7 議 題 (1) 地域活性化事業交付金の実施報告と申請事業について ・小山地域の人と人とをつなげるプロジェクト ・不登校児童生徒のためのスポーツサポート（スポサポ）事業 ・小山中ハロフェスプロジェクト ・手しごとでつながるコミュニティの場（てとてと）事業 (2) 令和7年度のまちづくり会議の取組（案）について 8 その他 (1) 中央区観光振興プログラムにおける区内風景の 記録写真に係る観測地点の選定について 9 閉 会		

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、△は申請団体の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

事務局が開会

2 来賓あいさつ

高野中央区長のあいさつの後、中央区役所の職員を紹介した。

3 役員の選任について

小山地区まちづくり会議会則第7条の規定に基づき、次のとおり役員を選任した。

会 長	入谷 利郎（小山地区自治会連合会 会長）
副会長	星 清次（小山公民館 館長）
	長谷川 澄男（小山地区社会福祉協議会 会長）

4 会長あいさつ

入谷会長からあいさつをした。

5 委員自己紹介

令和7年度小山地区まちづくり会議委員による自己紹介を行った。

6 事務連絡

（1）小山地区まちづくり会議について

事務局から資料に沿って、次の事項について説明を行った。

- ・概要について（会則、傍聴規程）
- ・令和7年度の開催日程
- ・令和5～6年度の実施状況
- ・会議における E-mail の活用について

<主な意見・質疑>

特になし。

（2）地域活性化事業交付金について

事務局から資料に沿って、地域活性化事業交付金の概要及び昨年度からの変更点等について説明を行った。また、中央区独自で作成した令和7年度版の地域活性化事業交付金PRチラシの紹介を行った。

<主な意見・質疑>

特になし。

7 議 題

(1) 地域活性化事業交付金の実施報告と申請事業について

継続事業3件及び新規事業1件について、それぞれ申請団体から事業の企画提案に至った背景や実施内容などを含めて、申請内容全般について説明が行われた。

■小山地域の人と人をつなげるプロジェクト

<主な意見・質疑>

○昨今はひとり暮らしの高齢者も増えているという課題がある。さまざまなメニューを用意し展開している本事業に参加し、人と人とのつながりを感じていただくことは大切なことだと思う。継続実施をお願いしたい。

●交付額の算出の方法について補足する。4年目以降の事業は交付額が3/4になるため、交付金額は、事業に要する経費から参加者負担金を除して、その額に3/4を乗じた額である。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

■不登校児童生徒のためのスポーツサポート（スポサポ）事業

<主な意見・質疑>

○謝礼等を支払う「指導員」はどのような方か。

⇒△ほとんどが明星大学の教育学部の学生である。学生達は発達や特別支援について学んでおり、将来は教員を目指していると伺っている。本事業は学生がいるからこそ実施できている。不登校児童生徒は大人との関わりが苦手な子も多く、より子どもたちと年齢が近い大学生と関わっていただくことが、非常に大切だと考えている。その大学生達に、交通費として謝礼をお渡ししている。

⇒○ボランティアで対応していただくのは難しいのか。私の経験としても、昨年、無料塾を立ち上げて講師が足りなかったため、ボランティア講師を桜美林大学の学生に依頼したが、断られてしまった。

⇒△大学生も余裕がなく、学習もアルバイトも必要な中で本事業に参加していただいている。現状でボランティアとして依頼することは難しい。

○新たに今年度開催する指導員向けの研修会の詳細を教えてください。

⇒△計3回、夜間にZoomでの開催とし、指導員や不登校児童生徒への親を対象とすることを予定している。

講師の一人は不登校児童生徒の親の会を立ち上げた方で、内容については、

ご自身のお悩みや経験談などを話していただくことを検討している。また、もう一人は児童養護施設との関わりがある団体の方へ依頼する予定である。
⇒○Zoomは聞き取りづらいなどの課題もあるので、その点に配慮しながら開催をお願いしたい。

○昨年度、不登校児童生徒は何人程度事業に参加されたか。

⇒△合計人数は78人だが、実人数でいうと十数名程度である。

⇒○不登校児童生徒を把握し、さらにその子ども達が事業に参加するのは大変だと思う。今年度は不登校児童生徒を見つけていくことに力を入れていただきたい。

○小山中学校において、不登校児童生徒の母親へ「相模原スポーツ・レクリエーションパークでスポサポ事業を実施しているよ」と声をかけたところ、「知っているよ」という返答があった。少しずつ事業が認知されてきているのではないかと感じている。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

■小山ハロフェスプロジェクト

<主な意見・質疑>

○毎朝小山中学校の子ども達に、「おはよう。いってらっしゃい。」とあいさつをしており、以前は返事がなかった子どもも、本事業のお陰か最近はいいさつを返してくれるようになった。そして、中学生があいさつをすると小学生もあいさつを返してくれるようになった。あいさつは大切なことであるため、ぜひとも活動を継続してほしい。

○今年度は地域の行事に積極的に顔を出し、ハロフェスをアピールしていただきたい。

○先日清新地区にある無料塾において、小山中学校出身の大学生がボランティアに来てくれた。無料塾には小山中学校の外国籍の生徒も通っており、長い会話はできずとも、小山中学校出身ということで盛り上がり、子どもたちのつながりが感じられた。小山中学校の活動を応援したい。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

■手しごとでつながるコミュニティの場（てとてと）事業

<主な意見・質疑>

○私は認知症養成講座の講師をしている。昨今では認知症は特別なものではなく、個人個人として考えていこうという動きが国にもある。ぜひ活躍していったら

しい。

○認知症予防はとても大切なことである。地区社会福祉協議会には現在11の高齢者向けのサロンがあり、そのサロンにおいて、本事業を実施してほしいという声が挙がったら相談に乗っていただけるか。

⇒△もちろんである。

○自治会館等借用料金として48,000円を計上されているが、どこで事業を実施するのか。また、参加者予定人数、時間、材料などは持参すればよいのか等を伺いたい。

⇒△場所については、公民館を借用するという手段もあるが、近所の人が集まりやすい場所ということで、ご自宅や自治会館を借用する予定である。参加者は10名程度、時間は1時間30分～2時間程度で簡単な刺し子などができたらと考えている。材料はこちらで用意する。ただ、まだ事業を実施したことがないので、最初は私が居住している久保原自治会周辺から始めていく。

⇒○私も本事業に携わっている。相模原駅前自治会の方へも声を掛けたところ、事業に賛同いただけ、当自治会周辺の場所を提供していただけることになった。徐々に他の地域へも展開を広げていきたい。

⇒△対象者については、介護をしている方も大きな悩みを抱えていると承知しているため、そういった方も対象としたい。また、いずれは子どもも対象としていきたい。先ほどの不登校児童生徒に関する事業について、私としては、辛い思いをしてまで学校に通わなくてもよいと思っている。むしろ、そういう子ども達でも、物づくりなど、何かに打ち込むことで夢を持ってもらいたい。本事業を通じてそのようなお手伝いができたらと思う。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

(2) 令和7年度のまちづくり会議の取組(案)について

入谷会長から、令和7年度のまちづくり会議の取組(案)について、資料に沿って提案が行われた。

<主な意見・質疑>

異議等なく、承認された。

8 その他

(1) 中央区観光振興プログラムにおける区内風景の記録写真に係る観測地点の選定について

事務局から資料に沿って説明し、6月6日(金)までに小山地区から観測地点を2か所選ぶアンケートの提出を依頼した。

＜主な意見・質疑＞

特になし。

9 閉 会

長谷川副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和7年5月13日開催

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会 長	○
2	加治 左近	宮下自治会		○
3	徳永 三朗	すすきの自治会		欠席
4	亀田 浩代	すすきの向陽自治会		○
5	若井 一朗	向陽町自治会		○
6	丸山 和加恵	久保原自治会		○
7	武井 弘吉	自治会法人 氷川町自治会		欠席
8	渡辺 ゆかり	相模原駅前自治会		○
9	阿部 利和	東第一自治会		○
10	佐藤 薫	丸山自治会		○
11	星 清次	小山公民館	副会長	○
12	川口 久美	小山公民館		○
13	宍戸 佳子	小山公民館利用者懇談会		○
14	長谷川 澄男	小山地区社会福祉協議会	副会長	○
15	遠藤 秀雄	小山地区社会福祉協議会		○
16	小池 美恵子	小山地区民生委員児童委員協議会		○
17	藤原 幸恵	青少年健全育成協議会		○
18	永山 康雄	防犯指導員		○
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		欠席
20	大谷 春枝	向陽小学校 P T A		欠席
21	中村 悠一	小山中学校 P T A		○
22	中里 和男	相模原西商店街協同組合		欠席
23	小田 信之	小山地域包括支援センター		欠席
24		学識経験者		